



平成26年4月30日

各位

上場会社名 株式会社 ショクブン  
 代表者 代表取締役社長 川瀬 公  
 (コード番号 9969)  
 問合せ先責任者 取締役経理部長 田野 光夫  
 (TEL 052-773-1011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,652	228	121	174	14.68
今回修正予想(B)	9,318	129	41	112	9.48
増減額(B-A)	△333	△98	△80	△61	
増減率(%)	△3.5	△43.3	△66.3	△35.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	9,608	99	3	△20	△1.73

平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,640	171	94	167	14.15
今回修正予想(B)	9,304	80	24	114	9.70
増減額(B-A)	△336	△90	△70	△52	
増減率(%)	△3.5	△52.9	△74.5	△31.5	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	9,594	45	△21	△24	△2.08

修正の理由

通期につきましては、売上増を目指し、メニュー内容の充実を図るとともにお試し半額キャンペーンによる新規顧客開拓やサービスポイントを利用した既存顧客の継続利用に取り組んでまいりました。しかしながら、物価の上昇、不安定な雇用・所得環境から、消費者の購買意欲は依然として回復するに至らず、当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況下で推移しました。前期実績に比べ本体事業で黒字化はいたしましたが、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ93億18百万円、1億29百万円、41百万円、1億12百万円となる見込みです。

企業の変革

当社では新たに企業概念を「新鮮食材の宅配と献立」「介護食のショクブン」とし、食品の総合産業へと刷新すべく、コーポレート・アイデンティティ活動を推進し、全社員の意識改革を図っております。

営業面におきましては、食材の品質保持を向上させた新しいセットボックス(通い函)を採用し、またご注文いただいたお客様に対し、ご注文数量に応じて割引を行う数量割引制度を新設しました。さらに本年4月より、生活必需品を低価格で購入できるお買い物代行サービスを開始いたします。

また、新規事業として介護事業者様に対する介護食の販売と献立のご提案、並びに介護食の調理、給食業務の受託をする等、第二の事業の柱として法人様向けに事業展開を始めました。

上述のように具体的な経営活動を進め、業績の向上に努めてまいります。

※ 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上